

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	広域観光促進基礎調査		担当部局庁	観光庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23～		担当課室	観光地域振興課 観光資源課		課長 七條 牧生 課長 新垣 慶太		
会計区分	一般会計		政策・施策名	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 20 観光立国を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	観光立国推進基本計画 第12条～第14条		関係する計画、通知等	観光立国推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	広域的な滞在交流型観光に向けた各地域の取組の効果的な推進を図るため、観光地域づくりにおける先進的な取組のための観光資源の掘り起こし・磨き上げ等に係る事業の支援、旅行商品についての品質向上策の策定等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○広域観光促進調査 「観光地域づくりプラットフォーム」の形成等により、広域的な滞在交流型の観光地域づくりの効果的な推進を図るため、第三者委員会による補助事業の事前・事後評価の実施、観光地域における取組実態調査、観光圏内の関係者の連携の推進。 ○地域観光イノベーション促進事業 旅行者ニーズの多様化、旅行スタイルの変化等に対応した魅力ある観光地域づくりを推進するため、新たなモデルの構築につながる観光地域づくりの先進的な取組について、観光資源の掘り起こしや磨き上げ等に係る事業の支援。 ○顧客満足型旅行商品推進事業 各地域の観光資源を活用して造成された旅行商品について、各地域における課題やその解決策を整理し、顧客満足度の高い旅行商品の品質向上策をとりまとめ、地域の自立的な観光振興を促進。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	—	201	88	153		
		繰越し等	—	—	—			
		計	—	201	88			
	執行額	—	183	79				
	執行率 (%)	—	91.0	89.8				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	127国内観光旅行による国民一人当たり年間宿泊者数	成果実績		泊			集計中	2.5
		達成度		%				
	129国内における観光旅行消費額	成果実績		兆円			集計中	30
達成度			%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	観光地域における取組実態調査件数	活動実績		件			25 (25)	(25)
		(当初見込み)		件		()	(4)	(4)
地域観光イノベーション促進事業採択件数			件		()	(4)	(4)	
単位当たりコスト	78,937,540(円/一式)		算出根拠	広域観光促進基礎調査事業にかかる経費一式				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	438						
	職員旅費	8,933						
	委員等旅費	294						
	観光振興調査費	141,938						
	国内旅行需要促進対策庁費	1,600						
	計	153,203						

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	行政区域を越えた広域的な滞在交流型観光による観光地域づくりに向けた地域の取組を促進するものであり、国費の投入は妥当である。また、国・地方自治体・民間等が協働して事業を実施している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	旅行者ニーズの多様化、旅行スタイルの変化に対応した新たなモデルを構築し、全国共通の課題を導き出すことで応用・発展に結びつけ、地域の自立した取組を促すには、観光地域づくりの高度な専門知識・提案能力が必要であるため、一般競争ではなく企画競争を実施した。また、予算要求に際し、複数者から参考見積を徴することで、費目・用途の適正化を図った上で上限金額を設定し入札を実施した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	当初の見込みどおりの活動実績となっており、成果物は全国各地の関係者に提供し活用されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点検結果	観光地域づくりプラットフォーム支援事業補助金の採択に対して、第三者委員会による事前事後評価を実施することで取組内容を精査し、必要に応じて取組の改善・組替、効果的・効率的な事業展開を行うよう求めることで、より適正な事業が実施できるように指導を行った。また、一般競争入札ではなく、複数応募による企画競争を行っているのは、本業務の実施に当たって、十分な成果を獲得するために確実な業務遂行体制が必要であるとともに、観光地域づくりに高い見識を持ち、かつ、業務実施によって明らかになった課題を検証して成果を的確に取りまとめる能力が不可欠であるためである。企画競争であっても、効果的かつ効率的な実施が担保されるよう、厳正な選定に努めている。			

外部有識者の所見

--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

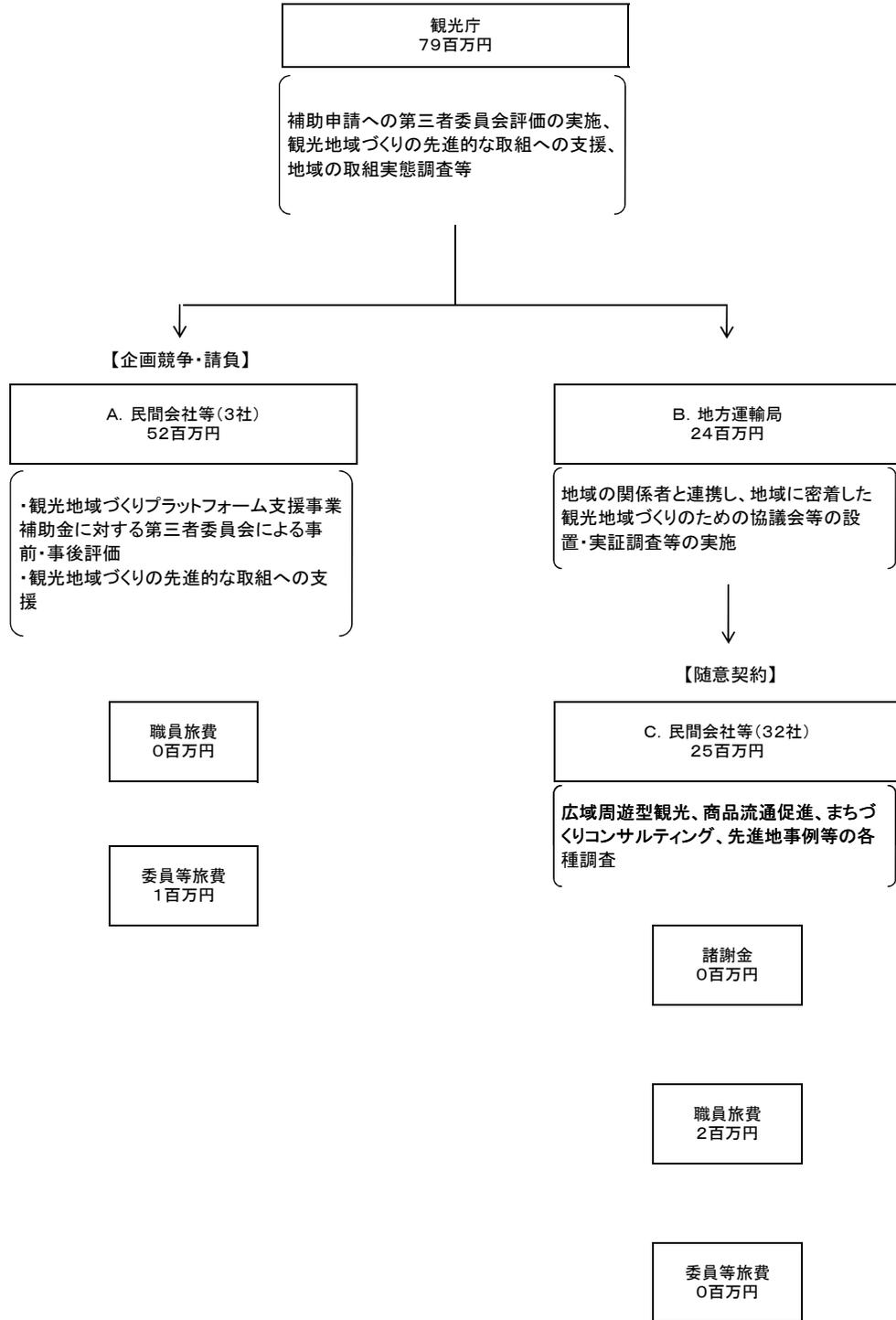
備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年		平成23年	
-------	--	-------	--

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.公益財団法人日本交通公社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	現地ヒアリング、第三者委員会、アンケート調査等	15			
人件費	調査に係る人件費	4			
諸経費	技術経費、消費税等	4			
計		23	計		0
B.沖縄総合事務局			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	先進事例収集、応用検討、事例集作成	2			
計		2	計		0
C.(株)オリエンタルコンサルタンツ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸経費	技術経費、消費税等	1			
人件費	調査に係る人件費	1			
その他	報告書印刷等	0			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 民間会社等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本交通公社	旅行ニーズの多様化、スタイルの変化等に対応した、新たなモデルの構築につながる先進的な取組に支援	23	随意契約 (企画競争)	-
2	(株)リクルート	観光資源を活用して造成された旅行商品の、各地域における課題や解決策を整理し、顧客満足度の高い旅行商品の品質向上策のとりまとめ	17	随意契約 (企画競争)	-
3	(公財)日本交通公社	観光地域づくりプラットフォーム支援事業補助金の採択にかかる第三者委員会の開催、評価事項の整理・体系化、顧客満足度調査等	11	随意契約 (企画競争)	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 地方運輸局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北運輸局	地域の魅力認知度調査、来訪者実態調査等	4	随意契約	-
2	北陸信越運輸局	酒蔵ツーリズムの創造、他業種間連携調査等	4	随意契約	-
3	北海道運輸局	ユニークベニューの活用方策、ガーデンを活かしたMICE対応等	3	随意契約	-
4	関東運輸局	まちづくりコンサルティング事業、顧客満足型商品促進等	2	随意契約	-
5	沖縄総合事務局	滞在交流型観光の先進事例調査	2	随意契約	-
6	中国運輸局	神楽の観光資源評価調査、観光協会現状調査、スポーツ合宿実態等	2	随意契約	-
7	中部運輸局	多言語化調査、官民合同観光セミナー等	2	随意契約	-
8	四国運輸局	着地型旅行商品の流通促進等	2	随意契約	-
9	近畿運輸局	周遊観光促進調査、まちづくりコンサルティング事業等	2	随意契約	-
10	九州運輸局	広域周遊型観光実態調査	1	随意契約	-

C. 民間会社等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オリエンタルコンサルタンツ	滞在交流型観光の活性化に取り組む先進地事例の調査	2	随意契約	-
2	(株)日本能率協会総合研究所	東北の冬の魅力認知度及び北海道との魅力差別化可能性調査	2	随意契約	-
3	四国旅客鉄道(株)	地域資源を活用した着地型旅行商品の流通促進等に関する調査	2	随意契約	-
4	(株)アドホック	式年遷宮記念せんぐう館における多言語化調査	2	随意契約	-
5	(株)JR東日本企画仙台支店	東北地方太平洋沿岸エリアにおける来訪者実態調査	2	随意契約	-
6	(株)計画情報研究所	文化的魅力を活用した滞在観光の可能性調査	1	随意契約	-
7	(株)ドーコン	北海道ならではのユニークベニューの活用の方に関する調査	1	随意契約	-
8	(株)ケーシーエス	関東観光まちづくりコンサルティング事業における会議運営等支援業務	1	随意契約	-
9	(株)OM環境研究所	広域観光圏に向けた周遊観光促進に関する調査	1	随意契約	-
10	(株)JTB総合研究所	他業種間連携による観光プロジェクト創出に関する調査	1	随意契約	-